

令和元年度第1回豊臣石垣保存公開検討会議要旨

1. 開催日時：令和2年2月17日（月）15時～16時25分

2. 開催場所：大阪歴史博物館 第3会議室

3. 出席者

【委員】中村座長、西形委員、岸本委員、伊藤委員（順不同、敬称略）

【オブザーバー】

大阪府教育庁文化財保護課 原田副主査

4. 議事

1. 進捗報告

- ・これまでの検討経過
- ・円弧すべり防止の対策
- ・内部プランの変更
- ・外壁材の変更

2. 地中障害物の発生

- ・発生経緯
- ・サウンディング調査結果
- ・サウンディング結果を受けた施設の変更

3. 今後のスケジュール

4. その他

- ・特別史跡大坂城跡整備計画
- ・募金の状況

5. 議事要旨

○進捗報告

- ・内部プランの変更について、設置する高さ600mmのコンクリート壁は、地震時等に飛んでくる石の衝撃やの土砂流入を留めるために必要な強度を確認して設置する必要がある。
- ・コンクリート壁の石垣に向かって右端の開口部における、侵入防止対策については、扉等の強固なものが必要だと考えるので、検討してほしい。

○地中障害物の発生

- ・地中障害物の正体は、不明ということであるが、確認できるのであれば確認したい。
- ・障害物の影響での設計変更図面について、地下平面図の高さ関係について確認のこと。
- ・展示ホールをできる限り広く取るよう設計してほしい。

○今後のスケジュール

- ・令和2年度の発掘現場現地公開はかなりの話題になると考える。また、事業の意義を市民に周知する絶好の機会である。できれば数日公開日を設けてほしい。
- ・平成25年度の発掘調査時、露出した豊臣石垣の隙間からかなりの水が流出していた。今回の発掘調査でも、水の流出が考えられる。事前に最悪のパターンの対策を考えておくべき。
- ・石垣の調査成果をすぐに検討し、対策について判断できる体制を整えておくべき。
- ・調査中の石垣上部への保護策は何か考える必要があるのではないかな。
- ・石垣のモニタリング方法について、ゲージ設置だけではトータルの動きが不明である。傾斜計等でのチェックも必要ではないかな。検討してほしい。
- ・石垣のモニタリングについて、工事中と公開中の変化が重要だと考える。
- ・展示についての調整は、委員に個別に相談させていただき、当会議では報告や確認をさせてもらおうと考えている。